

訂正とお詫び

本書(第1刷〜第3刷)14ページの一部におきまして誤りがございます。右が正しい内容です。謹んで訂正させていただきますとともに、読者の方に深くお詫び申し上げます。



オペラ大通りとサン・トノレ通り(P.40)が交わる場所にあるこの広場は、『青い麦』で知られる作家コレットが名前の由来。パレ・ロワイヤル(P.22)の一角、2番地に佇む老舗カフェ、Le Nemoursは回廊から広場まで並ぶテラス席が名物で、コレット広場の風景になくはない存在です。朝から晩まで毎日休まずオープンしている、パリの伝統的なブラスリーで、すぐそばにルーヴル美術館もあることから、旅行者が気軽に利用できる便利なアドレス。ジャン＝ミッシェル・オトニエルが2000年にデザインした、パレ・ロワイヤル・ミュゼ・デュ・ルーヴル駅の個性的なエントランスがあるのもこの広場です。